



静かに見守る、たくさんのおひな様  
福よせ雛プロジェクト



ユニークに飾り付けられたおひな様たち

人口減少が続く町ににぎわいを呼び込もうと、全国各地から集まったひな人形を展示する「福よせ雛プロジェクト」が、3月3日から始まりました。飾られなくなったひな人形をユニークに飾り付け展示し、おひな様の「移住生活」をお披露目している同プロジェクト。ひな人形は金持テラスひのをはじめ、町内各地で展示されています。福よせ雛の展示は3月24日までです。ぜひ会いに来てみてはいかがでしょうか。

## 地域を元気にするアイデアを発表

### 日野町リノベーションLab研究成果報告会



日野町の地域課題について研究の成果を発表

2月27日、旧黒坂小学校校舎で、地域のさまざまな課題を研究する「日野町リノベーションLab」の研究成果報告会が行われました。第一部では、地域活性化に取り組む住民Labチームの活動報告が行われ、計12組が今年度の取り組みの成果を発表しました。第二部では、同事業に参加している鳥取大学や農林水産政策研究所、島根県中山間地域研究センター、Chukaaitライセクターラボなどが、地域課題の調査・分析の成果報告を行いました。

## ～山陰の雪を愛でに来ませんか～ 丹野智文 in 鳥取県日野郡

2月5日から7日の3日間、39歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断され、各地で講演活動をされている丹野智文さんとの交流イベントが、日野郡で開催されました。

初日は「日野学園交流」。日野学園の4～6年生が、丹野さんがモデルとなった映画「オレンジ・ランプ」を鑑賞後、丹野さんや認知症の人と家族の会の代表に質問をしたりお話を聞く交流会を行いました。

2日目は、町文化センターで「みんなのしゃべり場」「日野郡3町合同おれんじドア」を行いました。丹野さんは、「何をされるのが一番嬉しい？」という質問に、「ちょっと言い方を変えるだけで、みんなイライラせず楽しく過ごせる」など、自らの体験をふまえながら話していました。

生徒や保護者、専門職や福祉関係者などから多くの質問があり、1つ1つの答えや話に参加者は真剣に聞き入っていました。たくさんの交流と学びが生まれ、理解が深まった日になりました。



丹野さんを囲んで交流会（日野学園）



ステージ上で参加者の質問に答える丹野さん

# 生きる・つながる・支えあう



## 3月は「自殺対策強化月間」です。

国は、月別自殺者数の最も多い3月を「自殺対策強化月間」と定めています。自死の原因には、健康の問題や経済・生活の問題、うつ病などさまざまなことが複雑に関係していると言われています。現代社会の中では、誰もがこころのバランスを崩す可能性があり、決して他人事ではありません。

あなたが悩みを抱えていたら、あなたの周りに悩みのある人がいたら、ぜひ相談してください。

——ひとりで抱え込まず、早めに相談しましょう——

### <こころの相談窓口>

- ◆ 日野町健康福祉センター  
電話：0859-72-1852
- ◆ 西部総合事務所米子保健所  
電話：0859-31-9310
- ◆ 鳥取県立精神保健福祉センター  
電話：0857-21-3031
- ◆ 鳥取いのちの電話  
電話：0857-21-4343
- ◆ 自死予防いのちの電話  
(一般社団法人日本いのちの電話連盟)  
電話：0120-783-556

### 精神障がい者家族相談ダイヤル

同じ思いを知っている者同士だから話せる、誰にも言えないつらい思い・不安な気持ち…一人で悩まず、お電話ください。

- ・家族による家族のための電話相談です。
- ・相談料無料（通話料は別途かかります）
- ・匿名でも相談はお受けします。

実施日： 毎月第1・3木曜日 午後1時～4時

電話番号：090-3880-3498

実施者： 鳥取県精神障害者家族会連合会

### 集落支援員 だより

KATAGIRI KEI  
片桐 圭

担当地区：  
高尾・後谷・金持



2月21日、金持公民館で小地域座談会を開催しました。

今回の小地域座談会では、金持集落と後谷集落あわせて19人が参加し、「高めよう！『見守り力』」というビデオを見ました。悪質業者や特殊詐欺など、ご近所の日でお互いを守りあおうという内容で、地域住民の皆さんの関係性が重要だと改めて感じました。

### 日野学園9年生に小説「火口に立つ。」贈呈

2月26日、日野学園9年生に小説「火口に立つ。」が贈呈されました。

この春に日野学園を卒業する9年生に対し、日野町出身の文人、生田長江のことをもっとよく知ってもらおうと、小説「生田長江」を出版する会が企画したものです。当日は、著者の松本薫さんが「がんばってください」と言葉をかけながら直接生徒に手渡ししていました。



▲生徒に小説を手渡す松本さん（左）